

2月定例会号

わかやま 市議会 だより

No.105 令和4年(2022年)5月1日発行

目次

- ・特集 駅からまちなかへ
人がつながるまちづくり P2
- ・議長就任の挨拶／2月定例会の概要 P4
- ・令和4年度当初予算 P5
- ・代表質問 P6
- ・一般質問 P11
- ・委員会審査の概要 P12
- ・採決状況 P14
- ・1月臨時会の概要など P16

有吉佐和子文庫

みんなの居場所

日本の小説
JAPANESE NOVELS SECTION

特集vol.18

駅からまちなかへ 人がつながるまちづくり



和歌山市の西の玄関口である南海和歌山市駅に誕生した「和歌山市民図書館」と「キノ和歌山」。商業ゾーン、オフィスビル、ホテル等を併設し、グランドオープンからまもなく2年を迎えます。今回、本市のにぎわいの拠点の一つとなっている新エリアにスポットを当て、関係者の皆さんにお話を伺いました。



南海和歌山市駅直結。商業ゾーン1階は、スーパーマーケットなど日常を彩るデイルーユースフロア。2階は、和歌山を感じるレストランフロア。3階は、医療機関などがそろった美と健康のフロア。

〒640-8203
和歌山市東蔵前丁39
【営業時間】
物販:10:00~21:00
飲食:11:00~22:00
※HPをご確認ください。

行列のできる図書館

和歌山市民図書館は、知・情報・交流・くつろぎの拠点として、日々の暮らしに役立つ本はもちろん、本市が誇る作家の有吉佐和子文庫をはじめ、公立図書館唯一の移民資料室を設置しています。また、カフェや知育玩具を備えたプレイスペースを併設するなど、子供から大人までが気軽に本に親しみ、これまでとは違った居心地の良い空間に生まれ変わっています。休日には、開館前から行列ができるほどのにぎわいを見せています。学習室で机に向かう学生や親子連れの子供たちを見ていると、本と人とまちをつなぐ図書館の役割が少しずつ果たされているように感じます。

図書館が新しくなり、読書や学習の時間、外出の機会が増えたとの声が聞こえてきます。図書館が住民の生活スタイルを変化させ、新たな居場所「もう一つの家、学校、公園」として、利用者の心を豊かにすることを期待しています。

図書館



本棚にも椅子にもなるえほんの山



親子でお弁当などを食べるもぐもぐスペース



蔵書冊数は約48万冊
年中無休で開館



開放的な空間が楽しめる
芝生のある屋上テラス

日常に笑顔を

コロナ禍でのオープンには、商業ゾーンの事業者の方にとって大変な苦勞であったこと、また、新たな需要を生む経営へのこだわりと熱い思いが、コロナの波を乗り越え、現在の活気につながっています。

1階のスーパーマーケットでは、和歌山県の産品の良さを知ってもらうため、販売方法にこだわった店づくりに取り組んでいます。こうした仕掛けが功を奏し、来店するお客様が増えているようです。

2階のレストランフロアでは、和歌山のグルメが味わえます。それぞれの特徴を生かし、地域に根付いたお店として、和歌山を盛り上げたいという熱い思いが伝わってきます。また、いつ誰とでも行きやすい店づくりが話題となり、昼は学生や主婦、夜は会社員などで連日にぎわっています。

コロナ収束後は、図書館との連携も視野に入れ、更なる集客ができるよう期待したいと思えます。

編 集 後 記



来館者100万人達成!

昨年9月のニュースに思わず心が躍った。市民の注目を集め、新たなにぎわいの拠点となった新市民図書館とキーノ和歌山。

今回、その人気の秘密と魅力ある仕掛けづくりを知るため現地取材。関係者の方々の様々な工夫と努力、そして何より地域発展にかける熱い思いに感動しました。

頑張れ! みんなで応援するで!

特集担当: 中塚 隆、坂口 多美子、北野 均

写真左から、商業ゾーンの西田 清輝さん、大峯 功さん、和歌山市民図書館の丸山 明さん



まちをつなぐ

図書館、キーノ和歌山への移動手段は、自動車やバイクが大きな割合を占めています。毎月6万人を超える図書館の来館者や商業ゾーンのお客様を何とかまちなかへ誘導し、滞在時間を増やしてもらうことが今後の課題です。事業者の方からは、徒歩30分圏内を一つのまちとして考えてはどうかという経営者目線のご意見をいただきました。

和歌山城ホールや城前広場の完成、まちなかに5大学の開学、本市のシンボルである和歌山城に加えて、有吉佐和子記念館のオープンなど、魅力ある拠点が姿を現し始めました。まちなかの活性化には、これらの拠点をつなぐ動線や回遊性の高い歩きたくなるような空間の確保が必要です。私たち議員は市民ニーズを的確に把握し、地域や事業者の方々の協力を得ながら、行政とともに課題解決に努め、魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

シヨップ



生鮮食品やこだわりの商品が並ぶスーパーマーケット



健康とおいしさを届ける新鮮な野菜や果物など



和歌山県産の果物を主に使用色とりどりのフルーツ大福



県内10店舗の飲食店が集まるTHE FOOD HALL

議長就任のご挨拶

このたび、第88代和歌山市議会議長に就任いたしました。市民の皆様方には、日頃から議会活動及び市政発展にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市民生活や地域経済に大きな影響を与えてきました。一刻も早く社会全体が日常を取り戻さなければなりません。

和歌山市議会では、このような迅速に対応しなければならぬ様々な社会的課題、また現状の課題だけでなく、DXによる変革や、多様性を尊重するダイバーシティの実現、SDGsにより誰一人取り残さない社会づくりなど、未来を見据え、時代に沿ったまちづくりを実現するための様々な課題について議論を重ねています。

市民の皆様方にとって一番身近で、開かれた、分かりやすい議会となるよう取り組み、迅速かつ的確な施策ができるよう議会運営に努めてまいりますので、今後ともより一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



第88代議長

とだ まさと
戸田 正人

(令和4年3月9日就任)
平成14年初当選 現在5期目
和歌山市監査委員
議会運営委員会委員長
和歌山市議会副議長
などを歴任

2月定例会の概要

開会

2月17日

- ・会期の決定(2月17日～3月9日)
- ・議案説明(議案29件(補正予算案20件、条例案1件、その他8件))
- ・質疑(姫田議員) ・議案の委員会付託

2月18日～21日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について、審査、討論及び採決

2月24日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(中村(朝)議員)、採決
- ・議案説明(議案31件(当初予算案18件、条例案12件、その他1件))
- ・追加議案の説明(条例案1件)

代表質問

2月28日

- 各会派の代表者による代表質問(P6～P11に概要掲載)
- ・中谷謙二議員、中尾友紀議員、松井紀博議員、坂口多美子議員、山本忠相議員、尾崎方哉議員

一般質問等

3月1日

- ・森下佐知子議員(P11に概要掲載)
- ・質疑(井本議員) ・議案の委員会付託

常任委員会

3月2日～7日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

3月8日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P12～P13に概要掲載)

閉会

3月9日

- ・議長の選挙 ・仮議長の選任
- ・各常任委員会の委員長報告、組替え動議
- ・反対討論(南畑議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決
- ・議員発議(決議案1件)、採決

令和3年度予算(2月補正後)

一般会計	1,717億6,537万3千円 (補正額94億7,918万9千円)
特別会計及び公営企業会計	1,426億9,025万6千円 (補正額39億4,446万8千円)
合計	3,144億5,562万9千円

補正予算の概要

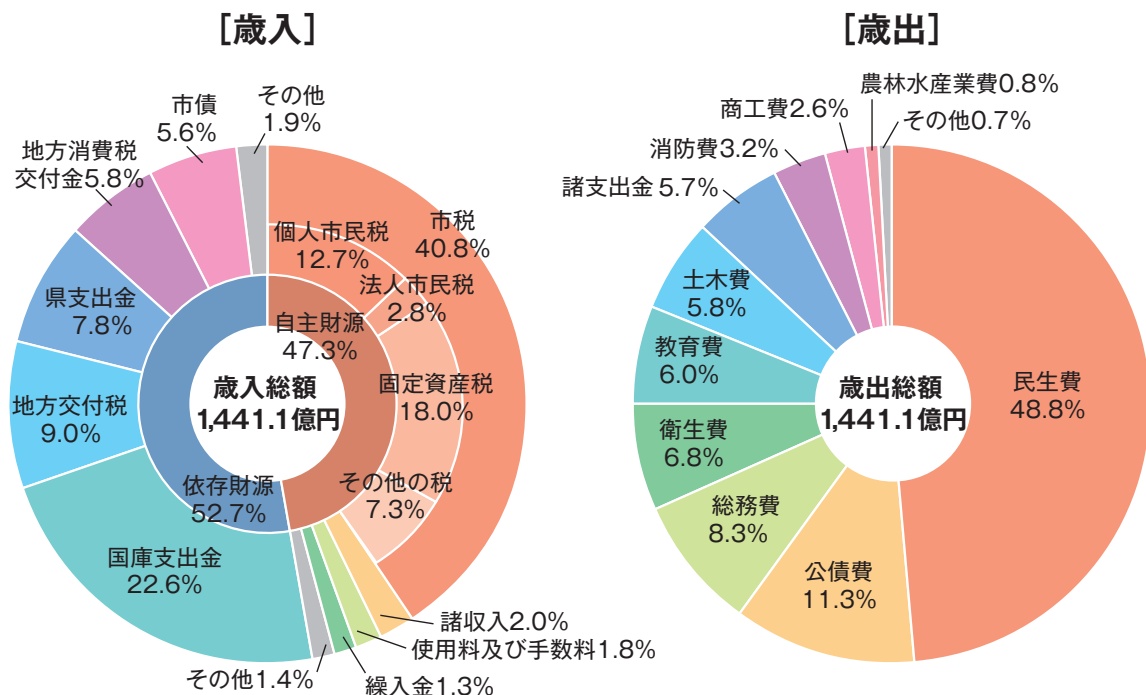
一般会計では、国補正を活用した保育士等処遇改善事業、都市計画道路整備事業、幼稚園・小・中学校施設整備事業に要する経費、各事業における事業費の決定や精算等による予算などが計上されました。

特別会計(公営企業会計を含む)では、配水施設整備事業などに要する経費、各会計で事業費の決定や精算等による予算などが計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

令和4年度当初予算

一般会計



特別会計

1,010.4億円

公営企業会計

380.5億円

予算合計

2,832億円

多様な営み・暮らしに寄り添う予算



1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち



- 1 人を呼び込み価値を送り出す地域産業
 - ・発展を牽引する「しごと」と「ひと」の獲得
 - ・競争力を高める地域産業の活性化
- 2 地域の魅力を生かした多面的な観光価値の向上
 - ・ウィズコロナ時代の観光施策 など

2 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち



- 1 住みたいと選ばれるためのまちづくりとプロモーション
- 2 にぎわいを広げ愛着を深める魅力的なまちなか
- 3 自然と豊かな暮らしの未来への継承
 - ・文化芸術の更なる振興 など

3 子供たちがいきいきと育つまち



- 1 安心して子供を産み育てることのできる環境の整備
 - ・子供を産み育てやすい環境づくり
 - ・健やかな成長を育む支援の強化
- 2 深い学びと健やかな成長を支える教育
 - ・子供の確かな成長支援 など

4 誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち



- 1 新型コロナウイルス感染拡大防止の推進
- 2 安心して暮らせる地域づくり
- 3 快適でスマートなまちの形成
- 4 誰もが支え合い健やかに暮らし続けられる社会
 - ・重層的支援体制の充実 など

代表質問

各会派の代表者による質問内容の一部を抜粋して掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

自由民主党市議団



なかたに けんじ
中谷 謙二

コロナ禍における子供たちを取り巻く環境

問 コロナ禍により子供たちを取り巻く環境は大きく変わり、抑圧された状態で子供たちは約2年経過してきました。マスクの着用は子供たちにとって心身ともに負担を強いており、表情で人の心を読み解いて行動するという小児期に学ぶべき大切なことができていない子供も増えてきている。全ては新型コロナウイルス感染症

が感染症法に基づく分類で2番目の危険度の2類相当とされ、特例的な新型インフルエンザ等感染症という位置付けで措置がされていることによるものである。

文科省では、学生の自殺者や不登校者の増加について、コロナ禍による環境の変化が大きな影響を与えていると捉えており、今、窮地に立たされている子供たちを救済すべく大人が声を上げ、子供たちが健やかに生き生きと育つ環境、日常を取り戻してあげなくてはならない。和歌山市の子供たち全てのお父さんである和歌山市市長として、第6波の終息と時を同じくして国に対し、季節性インフルエンザと同じ5類への変更の必要性を訴えられたい。また、子供たちが生き生き育つまちのために国に対して働きかけられたい。

答 5類感染症に変更することについて、以前から様々な視点での議論があることは承知している。2類相当の現在は、患者を全数把握し、就業制限や入院勧告を行い、濃厚接触者の自粛要

請など、感染拡大防止に重点を置いた措置となつている。一方、5類になれば、陽性者や濃厚接触者の行動制限が緩和され、学校生活において感染した児童生徒は出席停止措置が季節性インフルエンザと同程度まで軽減されることが想定される。2年を超える長いコロナ禍で、新しい生活様式を守りながら頑張っている子供たちがコロナ流行前の生活に一日も早く戻れるよう願つてやまない。今後、新たな変異株の出現で感染力や重症化率が変化することが考えられ、分類の変更に当たっては、国で専門家により議論されるべきと考えるが、地方の実情はしっかりと国に伝えていきたい。



子供と親への支援

問 コロナ禍では、子供と親への支援を庁内で連携して二元化し、周産期から成人するまでの子供と親のサポートを同時にしなければ制度や縦割り行政のはざまで取り残される人がいる。国においても、こども家庭庁の創設など子供の発達段階に応じた親と子の支援の二元化は、今後、進んでいくものと思われる。コロナ禍で大きな影響を受けている子供と親の状況について、どのように認識し、支援に取り組んでいくのか。



答 コロナ禍が長引く現状では、それぞれの段階において、悩みを抱える子供と親への支援が必要であると認

識している。基本的な感染予防対策を徹底しながら、子供、家庭に寄り添った諸支援に取り組んでいく。

5歳から11歳小児へのワクチン接種

問 オミクロン株への有効性を示すデータがなく、重症化率が高くない健康な5歳から11歳へのワクチン接種する意義は何か。

答 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会は、5歳以上11歳以下の小児に対するワクチン接種について、特例臨時接種に位置付けること、努力義務規定の適用を除外すること等について、妥当である旨答申した。日本小児科学会では、基礎疾患のある子供では重症化を防ぐことが期待され、健康な子供についても接種に意義があるとして、本人や養育者がメリット、デメリットを十分に理解し、接種の際にはきめ細かな対応が必要と提言している。本市としては、希望される方への接種機会を確保するため、市内の接種協力医療機関27か所で接種体制を整備して

いる。なお、接種は強制ではなく、小児への接種については保護者への同意なく行うことはない。



問 12歳以上と5歳から11歳用のワクチンは成分が違うが、成分が変わったことについて厚生労働省から説明があったのか、併せて成分が変わった理由を示されたい。

答 厚生労働省による自治体向け説明会では、5歳から11歳のワクチンの有効性、安全性の説明があったほか、用法、用量や取扱い方法などについての説明があったが、成分の変更やその理由についての説明はなされていない。

問 予防接種法では接種の有効性、安全性、その他の

情報を踏まえた上で、接種勧奨と接種の努力義務については、対象者を指定して適用しないことが可能となっている。このことから、

5歳から11歳の接種の努力義務はなく、接種勧奨も適用しないことが可能である。他市では、丁寧で慎重な対応を決定している自治体が増えてきている。本市においても5歳から11歳のワクチン接種は、せめて努力義務がない間は、希望者のみの送付にすべきと考えるが、市長の判断はどうか。

答 オミクロン株が猛威を振っている現在の状況の中、小児への接種を早くしてほしいと希望する方もいる。3月の接種開始に当たり、希望する方へ速やかに接種機会を提供するためには、申請方式等の手段では制度の案内や申請の手続などに時間がかかるため、対象者全員への接種券の個別送付が有効であると考えられる。送付物には接種券のほか、国の提供するワクチンの説明書や注意点など、保護者が接種の可否を判断するための情

報があることから、ワクチン接種のメリット、デメリットをよく考え、判断をお願いしたい。

公明党議員団



なかお ともき
中尾 友紀

新型コロナウイルス対策

問 オミクロン株が猛威を振るう中、感染や重症化の予防効果があり、死亡率を低減させる3回目のワクチン接種を迅速に進めるため、これまで以上にワクチンの効果や副反応について、分かりやすく丁寧な情報発信が重要である。ワクチンの交互接種や子供の接種に対する不安解消に向け、安全性や有効性について市長の言葉で発信してはどうか。

答 ファイザー社製、モデルナ社製いずれのワクチンも十分な効果と安全性が国で確認されている。交互接種を促進し、追加接種の積極的な推進を図るため、私自

身もモデルナ社製での交互接種を行うとともに、和歌山山市公式ユーチューブチャンネルで市民への呼び掛けを行い、ファイザー社製ワクチンの供給が少なくなっていることや、モデルナ社製ワクチン接種の優先についてお伝えしている。

5歳から11歳までの子供への接種については、早く接種させたいと期待の声がある一方で、副反応に不安があるとのこと意見もある。本市としては、接種を希望される際、保護者の同意のもと接種できる体制を構築することが重要だと考え、国が示す資料などを分かりやすく情報提供することで不安の解消に努めていく。



問 休校や学級閉鎖、クラ

スタターが多数発生している保育園や学校、高齢者施設などは、現場の不安を解消し、新規感染者を少しでも減らすためにも、新型コロナウイルスの職場接種をすべきと考えるがどうか。

答 保育士や教職員、高齢者施設入所者及び従事者への早急な接種方法として職場接種が有効と考える。保育士及び教職員は2月20日から順次開始し、高齢者施設は2月中におおむね完了の見込みである。



1R(統合型リゾート施設)

問 カジノができることによりギャンブル依存症に対する不安を持つ市民の方がおられる。シンガポールの事例のようにギャンブル依

存症の方が増えない目標を達成するためには、本市は計画案に示された役割分担の下、県や関係機関と連携し、これまで以上に対策に取り組み必要があるが、市長の考えはどうか。

答 開業するまでに既存のギャンブル等に起因する依存症の方を減らす対策として、保健所への相談窓口の設置、専門職の相談員の配置などにより、相談、回復支援等に取り組みとともに、正しい知識の普及・啓発、予防教育等も進めていく。また、県においても専門治療プログラムの普及を図るとともに、専門医療機関を設置することとなっている。

開業後は、日本人及び外国人居住者に対する入場料金の設定やマイナンバーカードを活用した厳格な入場制限、IRカード導入による使用金額の上限設定やプレイ履歴の管理などが、国や県が定めたルールに基づき実施される。ギャンブル等依存症対策の効果については、毎年度実態調査を行い、その結果を公表するとともに、和歌山県立医科大学及び

属病院等と連携し、依存症研究が実施される。

本市としては、県、医療機関、自助グループ、本人やその家族などと連携し、これらの対策を継続的にを行い、ギャンブル等依存症に悩む方を増やさないよう、しっかりと取り組んでいく。

問 海外で実績のあるシーザーズエンターテインメントが宿泊施設、MICE施設、カジノ施設等の運営主体となることが公表された。これにより期待できる効果、雇用効果、経済波及効果、文化芸術の発信や観光振興につながる点、納付金による福祉の向上など、より具体的な内容を市長から発信していただきたい。



IR区域内の建築物の外観パース(和歌山県提供)
※今後の計画進捗に伴い変更する可能性があります。

答 これまで開催できなかった大規模な国際会議や見本市、有名アーティストのコンサートやショーなどが開催されることになる。

宿泊施設には、ミシュランガイド3つ星を含めたレストラン、高級ショッピングモールなども計画され、デジタルストーリーにより、印象的な空間体験ができる。加えて、食文化を体験できる魅力増進施設、プールドームやeスポーツセンター、知育プログラムを提供するキッズ広場などが設置され、家族で楽しめるエンターテインメント施設になる。

経済波及効果については、建設時は約7100億円、運営時は年間約3100億円と見込まれている。加えて、雇用者数は約6200人、県内の雇用創出効果も約3万5000人とされており、新たな成長産業になると考えている。

文化芸術の発信については、観光拠点への周遊プランを積極的にPRしていただき、本市の観光振興につなげていく。

IR開業後は、県から納

付金が交付されるため、特に子育て支援、高齢者及び障害者支援などの福祉や教育の拡充に力を入れていく必要があると考えている。

政和クラブ



まつい のりひろ
松井 紀博

市立和歌山高校の将来構想

問 本市が設置運営する唯一の高校である市立和歌山高校は、少子化などの社会実情を踏まえ、創立50周年事業の一環として普通科を設置し、総合ビジネス科、デザイン表現科の3学科を備えた魅力ある学校体制を確立している。

そのような中、県教育委員会では、県立高校の再編整備が議論されている。しかし、市高の将来像については、具体的に議論がされておらず、将来のために必要な魅力を高めなければ県立高校再編の渦に飲み込まれ、市高の存在が埋没して

しまうのではないかとこの問題点が挙げられる。

また、スポーツ推薦を実施しているが、通学区域の見直しが行われておらず、県外住所地の生徒の入学は認められていない。プロスポーツの世界で活躍する卒業生がいる中で、スポーツ推薦で県外からの入学を可能とするのであれば、そこを明確にし、広く公募することが重要であると考えている。

さらに、本市が誘致した大学などへの進学に、市高のカリキュラムが対応できていないことも問題点に挙げられる。部活動でスポーツを続けてきた生徒が、地元和歌山で、これまでの経験を生かせる医療などの分野へ進学が可能となるよう整備しなければならぬ。

このように、現在の市高には、速やかに解決すべき課題がある。その問題点に気付いた場合は、解決に向けてすぐに着手することが重要であるが、市高が抱える問題点について、認識はどのようなものか。

答 20年後、30年後の社会像を見据えて、更に魅力あ

る学校を創っていくことが大切である。従来の取組を続けているだけでは市高における教育の質の維持・向上はできないという危機感を持って、未来の子供たちのために、特色ある学校の実現に向けた取組が必要であり、問題点についても解決する必要があると考える。



和歌山市立和歌山高等学校

問 市高が抱える3つの問題点を解決するため、(仮称)スポーツ人間科学科を新設し、大学進学後も引き続きスポーツができるトッ

プアスリートを育成するとともに、競技生活を終える生徒にも、適性に応じた分野への進学が可能なカリキュラムの強化を行うことを強く申し入れる。

県立高校のスポーツ系学

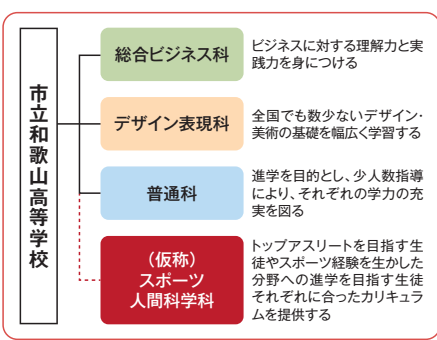
科の定員が減少する中、スポーツを前面に出した他校と競合するのではなく、市高は多様な進学を見据えたカリキュラムを用意し、すみ分けを図ることで、潜在的なスポーツ志向の生徒のニーズに応えられるようになるかと考える。専門の学科を新設することで、既存の学科を含め、地域のニーズに応えた特徴ある学科構成となり、生徒から選ばれる高校になるのではないかと。

(仮称)スポーツ人間科学科の設置により、問題点の解決が図られると考えるかどうか。また、実現の可能性、さらに、5年後の創立70周年までに問題解決、学校改革を図るといった時間的目標と決意はどうか。

答 ご提案の学科を設置すれば、問題の解決につながる可能性があると考える。しかし、実現の可能性については、県内にあるスポーツ関連学科の定員が減少している状況や他府県にある同様の学科について、調査研究を行う必要がある。

特色ある学校づくりは、本市唯一の市立高校として

の役割を維持するために欠かせないことであり、5年後の創立70周年を新しい市高をアピールする良い機会と捉え、市内の保健・医療系等の大学への進学につながる教育課程の導入や定員の一部に全国募集枠を設けることの検討などを含め、県立高校再編の動向も見極めながら取り組んでいく。



日本共産党議員団



さかぐち たみこ
坂口 多美子

新型コロナウイルス対策

問 第6波に対する市長の

見解はどうか。地方自治体として果たすべき役割をどのように考えているか。

答 第6波は一時的に危機的な状況であったが、本市には、市民の健康と安心を全庁体制で守る責務がある。

問 保健所体制の現状を市長はどのように考えているか。恒常的な職員増員が必要と思うかどうか。

答 今後の状況に応じて臨機応変に対応していきたい。

問 医療従事者の疲労は限界を超えている。医療機関への補助金を打ち切る国に対し、撤回と十分な財政支援を求めるべきではないか。



答 医療機関へは様々な診療報酬が算定・加算されており、国への要望等は考えていない。

IR(カジノ)誘致

問 仕切り直しと称された県議会の特別委員会において、事業実施体制、資金計画が不透明とされた区域整備計画案を市民に示すことについて、市長はどのように感じているか。

答 区域整備計画案はできただけ早く市民に示すべきであり、妥当であると考えている。

問 カジノは地方自治体としてなじまず、撤回するべきである。巨大な国際会議場など計画が身の丈に合っていない。投資会社が資金を集めることにも無理がある。改めて危険な計画だと思いが、それでも市長は推進していくのか。

答 裾野の広いIR事業は、本市の新たな成長産業で発展に必要なものであり、県と連携して取り組んでいく。

六十谷水管橋問題

問 重いポリタンクを運ぶことで圧迫骨折をされた方は、痛みと不自由な生活を強いられるとともに、多額の医療費がかかる中、何の

補償もない。補償の対象を広げてほしいという市民の声を知っているか。この声に応えるべきだと思うがどうか。また、実態に合った補償や助成に改める考えはあるか。



復旧工事中の六十谷水管橋

答 健康被害などの相談はコールセンターや受付窓口で聞いている。企業局としては、できる限りの対応であると考えている。

民主クラブ



やまもと ただすけ
山本 忠相

コロナ禍の事業者支援策

問 まん延防止等重点措置の運用については、国や県が主導権を握っているため、市が独自で行うことは難しいの难道うということは理解している。国も第5波と第6波の間で、飲食店の座席数を3分の1にして、営業時間を延ばし、一人客を積極的に受け入れるような営業方法が感染予防の観点から有効かどうかを検証し、より感染予防と経済を維持していくことのバランスをとる研究をしていたらきたかったが、そのような動きもない。そのような状況下で新年度の予算編成に係る全体の方向性は理解しているが、市内企業のひとつひとつを占める中小零細企業や個人事業主、また鈴丸、新内といった繁華街が元気を取り戻す政策を打ち出していないことを残念に思う。ただお金を配るだけではなく、事業者にとって実りのある政策が必要だと考えるが、市長の見解はどうか。

答 新型コロナウイルス感染症が流行して以降、これまで感染対策や設備投資への補助に加え、消費喚起につ



なげるための地域ささえ愛商品券事業やレシートキャンペーンタイアップ事業、また、売上減少に応じて支援金を給付した事業者支援金事業など、感染拡大状況や社会情勢の変化を見極めながら、市内経済の実態に即した様々な事業を行い、多くの事業者の方に活用していただいた。今後の支援策については、市内経済の状況や国、県の動向を踏まえた上で、影響を大きく受けている事業者の事業継続を支援する施策を行うことや、感染状況を見極めながら消費喚起につながる施策を実施するなど、市として、事業者にとって実りのある効果的な施策を速やかに検討していきたいと考えている。

民主主義に対する造詣

問 地方政治や地方分権・地域主権が注目される背景となった政治参加に関する「民主主義理論」は、大きく分けて、政治へのアクセスの直接性を重要視する「参加民主主義理論」の流れと、市民の政治参加を間接的な形にしておき政治の効率性を優先する経済学者の「ヨーゼフ・シュンペーターの唱えた「エリート民主主義理論」の流れがあると考えられている。これらの理論は、現在においても、民主主義を論じる基本的枠組みとなっているが、市長においては、どちらの理論に近い考えか。

答 地方自治制度の根幹は代表民主制であり、住民の意思の反映については、住民の選挙を通じて選ばれた長や議会が中心的な役割を果たすことが基本とされている。地方自治制度の根幹は代表民主制であると考えるが、直接民主制を否定する考えは全くない。したがって、どちらかの理論に近いということではなく、案件

ごとに判断した上で、市の発展に最大限つながらるような市政運営を進めていきたいと考えている。



和歌山興志クラブ・日本維新の会



おざき まさや
尾崎 方哉

本市のまちづくり

問 ウォーカブル推進都市として、居心地がよく歩きたくなるまちづくりを目指すためには、まちなかの拠点を線でつなぐ取組が重要であり、さらには周辺の旧

子ども支援センター、寄合町分室といった耐震性のない空き公共施設や教育文化センター、八幡丁館といった公共利用されている耐震性がない施設への対策が喫緊の課題である。まちなかの魅力と回遊性を向上させるためには、民間活用を含め、有効に利活用を進めるべきと考えるがどうか。

答 まちなかの魅力や回遊性の向上を図るためには、未利用となった公共施設や耐震性のない公共施設の利活用も有効な手段である。

問 絶景の宝庫和歌の浦の景観をよくするためには、建ぺい率容積率よりも外観の重視が重要と考える。建て替えやリニューアルを促進する施策が重要であり、観光誘客に資することを条件付けした上で、規制緩和すべきと考える。民間投資を呼び込むため、ホテル建て替えに係る規制緩和にあらゆる手法を用い、国に働きかけてはどうか。

答 民間投資を呼び込むための規制緩和について、国の特区制度の活用など様々な手法を研究の上、国に働き

掛けを行うなど、実現に向けて取り組んでいく。



和歌浦周辺

問 中心核と地域核を有する多極型のまちづくりの実現には、各地域の拠点を結ぶ道路などの基盤整備と公共交通による移動手段の整備が重要である。国、県への働きかけを含め、今後の都市計画道路整備に関する考えはどうか。また、市道と接続する都市計画道路の取り合わせ部の幅員は、最低4mに整備する必要があると考えるがどうか。さらに、渋滞の原因となつている交差点の改良への取組についての考えはどうか。

答 未着手区間のある雄湊高松線、有本中島線、松島本渡線などの整備については、都市機能や市民生活

を支える重要な道路網であり、災害対策の観点や学校施設集積の状況など、早期事業化に向け検討していく。また、道路の拡幅は、安全で快適なまちづくりに必要であり、整備中の今福神前線においても、今福霊園につながる今福12号線の拡幅などを事業化に向け進めている。さらに、有本交差点や新堀橋西詰交差点などの渋滞緩和に向け、より効果的な対策が実施できるよう、国、県とともに積極的に取り組んでいく。

代表質問及び一般質問の会派スペースを合算し、質問項目の概要を掲載する場合があります。

声の市議会だより

(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

一般質問

一般質問の概要では、質問項目の一部を抜粋して掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

日本共産党議員団



もりした さちこ
森下 佐知子

中学校給食

問 中学校給食の実施方式を検討するため行った調査の中間報告に対する受け止めはどうか。

答 予想より、自校調理方式、親子調理方式による実施可能な学校が少なかつた。

問 市民から寄せられた3220筆の署名を受け止め、子供たちを最優先に考えるとした6月議会の答弁どおり取り組むべきだと思うがどうか。

答 多くの市民が子供たちのために中学校給食に期待していただいていることは有り難いことであり、いただいた意見については参考にする。また、先進市の事例を積極的に取り入れるとともに未来への投資と捉え、財源を確保し実施していく。

新型コロナ対策

問 第6波への見通しが甘かったことについて、今後に向けて、想定、体制、対策を立て直すべきだと考えるがどうか。

答 国が11月に示したレベル分類に基づき、オミクロン株に備えた想定だったが、それをはるかに上回る規模で短期間に増大した。保健所業務が一時危機的状況になったので、市全体で業務分担し、2月には順調に進むようになったため、今後の流行には本庁内にバックアップ体制を準備する。

次の定例会は、**6月です!**



委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案7件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和4年度の主要事業については、次のとおりです。

SDGsの推進（海ごみアート事業）200万円について。これは、子供たちが、海洋ごみが漂着する「友ヶ島」の課題現場に触れ、アート作品の制作を通してごみに価値を与え、作品の展示や活動発表会等により域内外に発信していくことで、環境教育や創造性教育の向上を図っていくものです。

シテプロモーションの推進1219万7千円について。これは、本市の認知度及びイメージの向上を図るため、地域おこし協力隊を活用したSNSによる地域情報の発信やホームページの充実、さらにオンライン交流イベントの開催等ファン・マーケティング戦略をもとに効果的なシテプロモーション事業を展開することで「和歌山ファン」を増やし、将来的な移住につなげるものです。

お試しショップの開催352万円について。これは、移住希望者を対象に、和歌浦地区における空き地・空き家・空き店舗を活用した

試行的出店により、その地域で商売の感覚をつかみ、起業につなげるとともに、地域との関係性を構築し、継続かつ発展させることで、移住の促進による地域活性化を図るものです。



令和3年に開催されたお試しショップ

大規模断水事故応急対策の地域防災計画への位置付けと体制強化について。これは、大規模断水事故における応急対策を和歌山市地域防災計画に位置付け、活動体制の強化を図るものです。

外部デジタル人材の活用929万5千円について。これは、デジタル技術、情報セキュリティ等に関する専門的な知識・経験を有する外部デジタル人材を活用し、本市のDXの推進を図るものです。

なお、審査過程において、防災行政無線設備再整備工事の完成などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

厚生委員会

当委員会に付託された議案18件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和4年度の主要事業については、次のとおりです。

こども医療費助成制度の所得制限撤廃9636万7千円について。これは、令和4年8月からこども医療費助成に係る所得制限を撤廃し、和歌山市に住所を有する中学校を卒業するまでの全ての子供が医療費助成を受けられるようになることで、安心して子供を生み育てられる環境の充実を図るものです。



養育費保証料等の助成130万円について。これは、養育費の受取について、保証会社を利用した際の保証料及び強制執行を行う場合の費用を補助することで、継続した養育費用の確保を図り、ひとり親家庭の経済的な自立につなげるものです。

医療的ケア児とその家族への支援強化960万7千円について。これは、市立学校・こども園に看護

師等を派遣し、医療的ケアを必要とする子供が安心して教育・保育を受けられるよう支援します。また、医療的ケア児等コーディネーターを配置し、医療的ケア児本人やその家族が身近に相談できる支援体制の整備を図るものです。

新型コロナウイルス接種の推進8億2088万2千円について。これは、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、新型コロナウイルス追加接種（3回目）の速やかで円滑な実施を図るとともに、初回接種（1・2回目）も引き続き実施するものです。

子宮頸がん予防ワクチンのキヤッチアップ接種1億1794万6千円について。これは、子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の再開に伴い、これまでの期間で接種の機会を逃した方々に対し、3年間の時限措置として、無料で定期予防接種を実施するものです。

なお、審査過程において、和歌山市の新型コロナウイルス感染症とワクチン接種、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金、第5次和歌山市男女共同参画推進行動計画概要版、大阪湾フェニックス事業の進捗状況、太陽光発電事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案19件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和4年度の主要事業については、次のとおりです。

和歌祭四百年式年大祭の開催
1331万9千円について。これは、令和4年に創始400年を迎え、和歌山城周辺で行われる壮大な渡御行列に、騎乗「第八代將軍徳川吉宗公」として俳優の松平健氏に参加いただくなど、盛大に開催される和歌祭四百年式年大祭を支援し、本市への誘客を図るものです。



和歌祭

「サマータイムレンド」関連事業255万円について。これは、令和4年春、友ヶ島を舞台とした漫画のアニメ化に合わせて、作中に登場するオリジナルカレーを提供する和歌山市内の店舗の情報等を

市内外に発信するため、チラシ、ポスター、のぼり等の製作を行い、また、公式アプリに搭載する市内観光スポットの周遊を促すコンテンツを製作するものです。

有吉佐和子記念館の管理運営
1085万8千円について。これは、有吉佐和子記念館のオープン後、有吉佐和子氏の顕彰に取り組みとともに、市民が文学をはじめ文化芸術に親しむ機会を提供することにより、新たな文化の発信と文化的風土の醸成を図るものです。

観光地活性化計画（まちやど構想）の策定
1000万円について。これは、市内の観光地とその周辺地域において、空き家等を宿泊施設や飲食店、オフィス等として活用し、まちぐるみで宿泊客等をもてなすことで、新たな観光誘客や移住促進を図るための計画を策定するものです。

地域交流センターの整備
5885万円について。これは、生涯学習の拠点であるコミュニティセンターの充実を図るため、未設置地域である第8ブロック（吹上・砂山・今福・高松地区）にコミュニティセンターを整備するものです。

なお、審査過程において、組織改正、和歌山市立博物館協議会について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案29件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和4年度の主要事業については、次のとおりです。

レモンの丘公園の整備
2230万円について。これは、旧雑賀崎小学校跡地を津波発生時の一時避難場所やコミュニティ活動の場、和歌浦湾の眺望景観を楽しめる広場として整備を行うものです。

旧市民会館の民間活用
1047万2千円について。これは、旧市民会館周辺地域の更なるにぎわいの創出に向けて、民間活力を生かした土地活用を検討するものです。



旧和歌山市市民会館

空き家を活用した学生用シェアハウスの整備
600万円について。これは、学生のまちなか居住と空き家の利活用を促進するため、中心市街地の空き家を活用し

た学生専用シェアハウスの整備費用の一部を補助するものです。

国道42号和歌浦地区の歩道整備
10億4864万円について。これは、国道42号の和歌浦交差点から和歌浦口交差点までの区間において、歩行者や自転車をはじめ道路利用者の安全確保を図るため、国からの委託を受け、歩道整備等に必要となる事業用地の先行取得業務を進めるものです。

新水道事業ビジョンの策定
524万7千円について。これは、新水道ビジョンに掲げられた「持続」「安全」「強靱」の理念に基づき、本市の水道が抱える課題を整理し、水道事業の方向性を示すことを目的として「和歌山市新水道事業ビジョン」の策定を行うものです。

水道施設全体の在り方を再検討
4518万8千円について。これは、市内全域の安定給水を確保するため、送水管の複線化、新浄水場の建設及び既存浄水場（加納浄水場及び出島浄水場）も含めた水道施設全体の在り方を再検討するものです。

なお、審査過程において、加納浄水場更新工事の進捗状況と今後の予定、和歌山市空家等対策計画（第2期）などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

議案番号	件名	結果	自由民主党市議団					公明党議員団					日本共産党議員団			政和クラブ			民主クラブ			和歌山興志クラブ 日本維新の会																		
			浜田真輔	中村元彦	中谷謙二	丹羽直子	戸田正人	井上直樹	古川祐典	宇治田清治	遠藤富士雄	堀風良子	西園章世	中塚浩樹	中塚浩樹	奥山昭博	松尾友紀	松本哲郎	井本有一	中村朝人	森下知子	坂口多美子	姫田高宏	南畑幸代	松本和己	北野均	佐伯誠一	山本敏生	川端康史	永野裕久	山本忠相	寒川篤	中庄孝次郎	赤松良寛	山野麻衣子	尾崎方哉	吉本昌純			
議30	令和4年度和歌山市一般会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	議案第30号 令和4年度和歌山市一般会計予算の組替えを求める動議	否決	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
議31	令和4年度和歌山市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議32	令和4年度和歌山市卸売市場事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議33	令和4年度和歌山市土地造成事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議34	令和4年度和歌山市土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議35	令和4年度和歌山市住宅改修資金貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議36	令和4年度和歌山市住宅新築資金貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議37	令和4年度和歌山市宅地取得資金貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議38	令和4年度和歌山市駐車場管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議39	令和4年度和歌山市漁業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議40	令和4年度和歌山市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議41	令和4年度和歌山市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議42	令和4年度和歌山市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議43	令和4年度和歌山市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議44	令和4年度和歌山市直轄事業用地先行取得事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議45	令和4年度和歌山市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議46	令和4年度和歌山市工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議47	令和4年度和歌山市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議50	和歌山市こども医療費の支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議52	和歌山市立体育館条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議53	和歌山市都市公園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議54	和歌山市中央卸売市場業務条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議56	和歌山市旧四箇郷保育所大規模修繕等基金条例の制定	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議57	和歌山市消防団設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議58	和歌山市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議59	和歌山市手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議60	包括外部監査契約の締結	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議61	和歌山市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議62	副市長の選任	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	ロシア軍によるウクライナへの軍事的侵略に強く抗議し、恒久平和を求める決議案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案第48号、同第49号、同第51号、同第55号の条例改正は、市議会ホームページをご覧ください。

1月臨時会の概要

1月24日から1月27日までの会期で1月臨時会が開かれ、新型コロナウイルス感染症対策に関連した補正予算案1件が全会一致で可決されました。

また、和歌山市におけるカジノを含む統合型リゾート施設(IR)誘致の賛否を問う住民投票条例の制定は、発議として提出された修正案、原案ともに否決されました。

議案番号	件名	結果	自由民主党市議団					公明党議員団					政和クラブ				日本共産党議員団			民主クラブ			和歌山興志クラブ 日本維新の会															
			中村元彦	丹羽謙二	吉上直純	井上直樹	古川祐典	宇治田清治	遠藤富士雄	堀良子	西風章世	園内浩隆	中塚浩昭	藪友昭	奥山友博	中尾哲郎	松本哲郎	芝本和己	戸田正人	北野紀博	松野均	佐伯誠章	山本宏一	中村朝人	森下知子	坂口多美子	南畑幸代	山中敏生	川端康史	永野裕久	山本忠相	寒川篤	中庄谷孝次郎	赤松良寛	山野麻衣子	浜田真輔	尾崎方哉	
議1	令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議2	和歌山市におけるカジノを含む統合型リゾート施設(IR)誘致の賛否を問う住民投票条例の制定	否決	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	議案第2号 和歌山市におけるカジノを含む統合型リゾート施設(IR)誘致の賛否を問う住民投票条例の制定についてに対する修正案	否決	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

IR誘致を巡る議論

IR誘致に関する特別委員会が、閉会中の2月8日及び3月22日に開催されました。和歌山県のIR担当理事をはじめとした3名の職員が参考人として出席し、和歌山県特定複合観光施設区域整備計画(案)について説

明がありました。また、市当局から、立地市として当該計画(案)に記載する和歌山市の施策及び措置について説明があり、その後、各委員から意見、質疑及び要望がありました。

3月臨時会の概要

3月28日から3月30日までの会期で3月臨時会が開かれ、和歌山県特定複合観光施設区域整備計画に係る同意に関する議案が可決されました。これにより、和歌山県が進める本市へのIR誘致に同意することとな

りました。また、追加議案として一般会計補正予算案1件、議員発議として国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書案が提出され、可決されました。

議案番号	件名	結果	自由民主党市議団					公明党議員団					日本共産党議員団				政和クラブ			民主クラブ			和歌山興志クラブ 日本維新の会															
			浜田真輔	中村元彦	丹羽謙二	吉上直純	井上直樹	古川祐典	宇治田清治	遠藤富士雄	堀良子	西風章世	園内浩隆	中塚浩昭	藪友昭	奥山友博	中尾哲郎	松本哲郎	井本朝一	中村朝人	森下知子	坂口多美子	南畑幸代	山中敏生	川端康史	永野裕久	山本忠相	寒川篤	中庄谷孝次郎	赤松良寛	山野麻衣子	尾崎方哉	吉本昌純					
議1	和歌山県特定複合観光施設区域整備計画に係る同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議2	令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第14号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ご意見・ご感想をお待ちしております

和歌山市議会広報委員会

- 【委員長】中村 元彦 【副委員長】堀 良子
 【委員】中村 朝人 中庄谷 孝次郎 山中 敏生
 川端 康史 坂口 多美子 中塚 隆
 井上 直樹 北野 均 佐伯 誠章

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL: 432-0022(議会事務局)
 FAX: 424-9276
 Mail: gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 植物油インキを使用しています。

